

# 平和のつどい・平和展を開催

## ◎平和のつどい

市コミュニティホール

8月6日(金) 午前9時30分～午前11時30分

- ・平和祈念黙とう
- ・コンサート「世界が平和でありますように」
- ・平和メッセージの披露
- ・映画上映「よっちゃんのビー玉」 ほか

## ◎平和展

### ○パネル・書道展

市コミュニティホール

8月6日(金)～12日(木) 午前10時～午後4時

(6日は正午から、12日は正午まで)

- ・パネル展示 「15年戦争」
- ・書道展 市民から募集した作品展

### ○平和図書展

中央図書館

8月6日(金)～15日(日) 午前10時～午後6時

(土・日曜日は午後5時まで、月曜日は休み)

図書展示「15年戦争(1931～1945)」

### ○平和映画会

中央図書館

8月7日(土) 午前10時30分～

「八月の狂詩曲(ラプソディー)」

8月14日(土) 午前10時30分～

「ビルマの豎琴」



## ◎平和祈念黙とう

8月9日(月) 正午「平和の塔」前

8月15日(日) 正午「平和モニュメント」前

※詳しくは、市平和都市推進協議会(総務室内、TEL64-1337)にお問い合わせください。

## 次田典子議員が全国市議会議長会から表彰

5月26日に開催された全国市議会議長会定期総会において、次田典子議員が、10年以上市議会議員の職にある者として表彰をされました。

なお、6月7日の本会議終了後、議場において表彰の伝達を行いました。



# 今後の幼児教育のあり方は 国の施策を含め検討

河本隆志 議員(民主党)



親子で通園(新幼稚園)

①次世代の地域づくりの担い手を育成していくためには、さまざまな視点からの地域教育が重要だと考える。義務教育後の学習、例えば観光や農業に特化した教育も含めて地域教育を考えていくべきではないか。

教育部長 義務教育課程内の範囲ではさまざまな取り組みを実施しているが、それ以後は現状で地域教育を考えた場合、市民が学習していただける中で、プログラム構成がどう検討できるか考えてみたい。

②教育委員会として、宿泊型のサマースクールを積極的に充実させていく考えは、現在年間を通じて、多彩なプログラムを実施しており、今の状態では宿泊型の事業展開は非常に難しい。

③保育所入所希望者が増加し、保育所が不足する一方で、公立幼稚園の定数は満たない現状である。今後、保育所を含めた幼児教育のあり方や協議をする場を設けるなど、早急に検討委員会を設置し、対応すべきである。

教育部長 保育所と幼稚園のあり方、設置の精神は異なるが、市民ニーズがどうあるか、国の施策も含めて検討し、方向性を見極めたい。

④庁舎や公共施設内のトイレを洋式化を進めていくべきである。

総務部長 児童館・保育所は69%、教育委員会所管の施設全体では33%の洋式化率。施設の改修機会をどう洋式化を進めているところ。

⑤市民ニーズ、満足度を聞き取れる市民要望の相談窓口を設置しては、市民部長 人権啓発推進課で対応している。

市長公室長 郵送により、市民満足度調査を行う予定。

総務部長 窓口全てが要望を聴くことで、自らの力量を発揮できるチャンスである。直接要望を聴き、施策に反映させていくことが我々の仕事ではないかと思っている。

## 国民文化祭について問う

### 喜多英男 議員(新栄会)

## 市民に広く周知を図る

①国民文化祭について、今後の取り組みは、市民部長 本年は開催前年に当たり、本市も5月に市民人形劇団結成の人形劇講座を開講し、6月12日には500日前記念イベントとして、楽しい人形劇の開催や、11月には文化祭のプレイベントとして人形劇の祭典と第19回一休とんち大賞の二つの主催事業を開催する。また、来訪者への歓迎の取り組みを進めたい。



国民文化祭をPR

か取り組みを進めたい。しかし、国民文化祭に対する市民の認識は、まだまだ低調で、各種団体の

協力を得て、さまざまな機会に市民に広く周知をすべく、広報宣伝活動にも一層力を入れていく。

②道徳教育の推進について。現代社会における人間形成の取り組みが大切である。小中学校、生涯学習の両面から問う。

教育部長 学校では道徳教育推進教師を中心に道徳の全体計画や各学年の年間指導計画を作成している。授業では、副読本や「京のことも明日へ」とびら「心のノート」、映像や写真等を使って、生徒の心情や態度の育成に努めている。また、自己の生き方についての考えを一層進められるよう指導の工夫を行っている。生涯学習として

の道徳教育の取り組みは、社会教育事業として、道徳という直接的な名称での事業は行っていないが、あらゆる生涯学習事業や社会教育事業を実施していく上で、道徳教育という視点は基本にあるべきものと認識している。そのことから、各種講座や教室は単に技術の習得や能力の向上を目指すものだけではなく、人と人が一緒に学び合う学習機会を通して、自然や命を大切にすることを、人を思いやる心や責任感、人格形成など、人間性を豊かにするための基礎的、基本的な道徳心の育成や醸成を含めた観点から、学び合う機会として開催している。

## 議会基本条例

(3面左)

議会基本条例とは、自治法に基づく地方議会運営の基本原則を定めたもの。地方分権の進展に伴い、議会の責任が大きくなった現実を見据えた条例で、現在の地方議会のあり方を見直し、活発な議論を促すのが目的である。2006年に施行された北海道栗山町の「栗山町議会基本条例」が最初と言われている。

償還払い

(4面左10段目)

利用者が費用の全額をいったん支払い、その後申請を行い、公共サービス提供者(市など)からその費用の払い戻しを受ける。



## 固体酸化物型燃料電池

(2面1段目)

燃料電池とは、燃料の持つ化学的エネルギーを熱エネルギーの形態を介さずに直接電気エネルギーに変換する装置のこと。このうち、電解質として固体を用いた燃料電池が固体酸化物型燃料電池であり、装置を小型化した、高温の排出ガスを再利用し、全体の効率を高めることができる等の利点がある。



## 救急医療情報キット

(5面右5段目)

高齢者や障がい者等の安全・安心を確保することを目的に、かかりつけ医や持病等の医療情報や、薬剤情報提供書・診察券・健康保険証の名写し、本人の写真等の情報を専用の容器に入れ、自宅に保管しておくことで万一の救急時に備えるもの。持病や服薬等の医療情報を確認することで、適切で迅速な処置を行うことが期待される。